

第18回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

|   |   |
|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 片側1車線なのか、2車線なのかは大きなポイント。片側1車線なら40mどころか、20mも必要ない。「白紙にする」と「40mでいく」はいつまでもまとまらない。落とし所として減幅して都市計画決定するしか解決はない。</li> </ul>  |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● あいも変わらずの様々なメリット（ほとんど意味のない）の説明、災害時、道が広くても道路にひびが入ったり車が止まって通行できなくなったら、何も意味がないと思われる。ハードではなくソフトの時代ではないですか。南町の住民が南病院へのアクセスが良くなるってどういうことでしょうか？説明を本気でしているのでしょうか。本気ですか？この効果？？いちいち効果をあげるより、もっと広い、先を見越した大きな目での安心、安全を考えるべき。</li> <li>● たった少々街路樹増やしてどうするの。ヒートアイランドは車を減らせばよいのではないのですか。交差点の対策なんか、今でもできるでしょ！！バカバカしすぎる効果！！今でもいくらでもやって下さい。その2でなくてはできないこと一つもなし。</li> <li>● 司会者は市の意見が出た時、ここで出さないようにと発言したが、行政同士で勝手に話し合うより、皆の前で出たほうが良い。</li> </ul> |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ①現地を見れば一目で判るように、住民が100年かけて整えてきた住宅や生活を一挙に踏みつぶす外環2の計画は犯罪に等しい暴挙である。直ちに中止してほしい。</li> <li>● 資料14-4で示された環境、防災等は昭和41年当時は全く説明がなかった。道路を何が何でもつくろうというあとづけの理由で、いわばこじつけである。こんなものは是認できない。去る3月24日の大深度の公聴会で都知事代理の長谷川氏が陳述した「マチを壊さぬために地下化した。」という発言とどう整合するのか。</li> <li>● ②老朽化した高速道・橋・トンネルなどの補強・改修に莫大なカネ（税金）が必要なことが明らかになっているのに、都心部などに比べて数段危険度が低い当地区に、多額の用地買収などを使って、効果／費用が伴わないことが明白な外環2をつくるのが行政として正しいことなのか。切に再考を求める。</li> </ul>                   |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「話し合いの会」参加の住民（コミセン代表と公募住民）全員が外環の2（地上部街路）に反対を表明した。本来、この会は住民側構成員の意志により終了しても当然の状況にあることを、東京都は十分に認識すべきである。</li> <li>● 武蔵野市域での外環の2計画は、即刻廃止するのが、いまとるべき唯一の道である。そして、これまでの経緯で東京都が二枚舌を使っていたことを反省しなければならない。</li> </ul>   |